

統計法に基づく
一般統計調査



政府統計



調査票の記入及び提出は、インターネットでも可能です。
詳しくは、同封の「ご協力をお願い・インターネット回答の手引き」
をご覧ください。

政府統計オンライン調査総合窓口
<https://www.e-survey.go.jp/>



2025年社会保障・人口問題基本調査

結婚と出産に関する全国調査

第17回出生動向基本調査

〔独身の方への調査票〕

(令和7(2025)年 6 月 30日 現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、13ページにございます)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は6月30日時点で18歳以上55歳未満の独身の方(離別・死別の方を含む)に答えていただくためのものです。
- 令和7(2025)年6月30日現在の事実について、黒のボールペンや鉛筆でご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことがらを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル6階

<https://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄	
都道府県	
保健所	
地域コード	

シール貼付箇所

sample.

問1 あなたの(1)出生年月を記入し、(2)性別の欄は、あてはまる番号に○をつけてください。また、(3)国籍の別と、外国国籍の場合は日本に最初に居住した年月をお答えください。

(1) 出生年月	(2) 性別	(3) 国籍
1. 昭和 2. 平成 3. 西暦 _____年____月	1. 男 2. 女	1. 日本 2. 外国 (日本に最初に居住した年月) 西暦 _____年____月

問2 あなたの(1)在学・卒業の別(卒業された方は卒業した年齢を下線に記入)と、(2)その学校について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 在学・卒業の別	(2) 在学中または最後に卒業した学校
あてはまる番号に○ 1. 現在、在学中(休学等を含む) → 在学中の学校 2. すでに卒業 → 最後の学校を卒業した年齢 () 歳 数字を記入 → 最後に卒業した学校	あてはまる番号1つに○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 ()

※ 大学、大学院(5～8)卒業後に専門学校などに通った場合、大学または大学院を「最後に卒業した学校」としてご回答ください。
 ※ 中途退学した場合は、その前の卒業学校を「最後に卒業した学校」としてご回答ください。

問3 あなたの(ご両)親の(1)出生年と年齢、(2)現在のあなたとの同居／別居、(3)最後に卒業した学校についておたずねします。あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に数字を記入してください。

	お父さま	お母さま
(1) 出生年	[1. 大正 2. 昭和 3. 西暦] _____年 生まれ (満____歳) ※ 満年齢の記入はご健在の方のみで結構です	[1. 大正 2. 昭和 3. 西暦] _____年 生まれ (満____歳) ※ 満年齢の記入はご健在の方のみで結構です
(2) 現在のあなたとの同居	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた
(3) 最後に卒業した学校 ※ 旧制の高等小学校、小学校は中学校卒としてください。旧制の高等女学校は高校卒としてください。	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()

問4 あなたの兄弟姉妹の数を()内に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

あなたを含めて合計 ()人	あなたの兄弟姉妹の内訳	兄()人 いない場合は○を記入	姉()人 いない場合は○を記入	弟()人 いない場合は○を記入	妹()人 いない場合は○を記入
-----------------------	-------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

問5 あなたとあなたの（ご両）親のおつとめの状況についておたずねします。あなたについては a、b の2つの時期について、また、（ご両）親については現在について、それぞれ (1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数（ご両親については種別）のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください（お仕事が複数の場合、主たる仕事が対象）。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況※1	(2)職 種	(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)
		1 2 3 4 5 6 正 規 の 職 員 パート・アルバイト 派遣・嘱託・契約社員 自営業主・家族従業者・ 内職 無職・家事 学 生	1 2 3 4 5 6 7 主として農林漁業 農林漁業以外の自営業 専門職 管理職 事務職 販売・サービス職 工場などの現場労働	1 2 3 4 5 6 7 1 10 30 100 300 1000 人 人 人 人 人 人以上 官 公 庁
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後※2	回答欄 1～6のあてはまる番号に○をつける 1～4に○をつけたときは右の欄に進む 1 2 3 4 5 6	(1)で1～4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける 1 2 3 4 5 6 7	(1)で1～4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける 1 2 3 4 5 6 7
	b. 現在	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7

※1 学業のかたわらアルバイトをしている場合は、「おつとめの状況」で「学生」に○をつけてください。
※2 現在在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

【（ご両）親がご健在の方のみ記入】

お父さま	c. 現在	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7	あてはまる番号1つに○ 1 大手企業 2 中小企業 3 官公庁
お母さま	d. 現在	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 大手企業 2 中小企業 3 官公庁

● 現在 収入を伴うお仕事をお持ちの方 にかがいます。お仕事をお持ちでない方は問7へ進んでください。

問6 あなたの現在のお仕事（収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事が対象）について、次の(1)～(4)には該当する数字を記入し、(5)については、あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなたのお仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)	
(1) 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり平均 時間 分 （残業時間も含めた平均的な労働時間をご記入ください。）
(2) 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均 日
(3) 現在の仕事の勤続または継続年数※	およそ 年 <1年未満の場合は、1年としてください>
(4) 今年の5月の収入	税込み 約 万円 （事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。次の(5)も同様です。）
(5) 昨年(2024年)の年収	税込み 0. 1～99万円 3. 300万円台 6. 600万円台 9. 900万円台 1. 100万円台 4. 400万円台 7. 700万円台 10. 1000万円以上 2. 200万円台 5. 500万円台 8. 800万円台 11. なし

※ 休業からの復帰や社内の業務異動後からではなく、その勤め先に勤め始めた時期からの年数をお書きください。

● すべての方 にかがいます。

問7 今のあなたにとって、結婚することにはなにか利点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。「1.利点があると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な利点を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	今のあなたにとって結婚することは	右の回答欄に番号を記入	1. 経済的に余裕がもてる 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3. 精神的な安らぎの場が得られる 4. 現在愛情を感じている人と暮らせる 5. 自分の子どもや家族をもてる 6. 性的な充足が得られる 7. 生活上便利になる 8. 親から独立できる 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 10. その他 ()	→	<table border="1" style="border-collapse: collapse; margin: auto;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">回答欄 (番号を記入)</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">最大の利点</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">第二の利点</td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	回答欄 (番号を記入)		最大の利点	第二の利点		
	回答欄 (番号を記入)										
最大の利点	第二の利点										
1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う											

問8 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。「1.利点があると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な利点を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	今のあなたにとって独身生活は	右の回答欄に番号を記入	1. 行動や生き方が自由 2. 異性との交際が自由 3. 金銭的に裕福 4. 住宅や環境の選択の幅が広い 5. 家族を養う責任がなく、気楽 6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7. 職業をもち、社会とのつながりが保てる 8. 現在の家族とのつながりが保てる 9. その他 ()	→	<table border="1" style="border-collapse: collapse; margin: auto;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">回答欄 (番号を記入)</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">最大の利点</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">第二の利点</td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table>	回答欄 (番号を記入)		最大の利点	第二の利点		
	回答欄 (番号を記入)										
最大の利点	第二の利点										
1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う											

問9 下のワクの中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下のワクから選び、回答欄に記入してください。

- 【女性の方へ】 (1)あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 (2)理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

女性回答欄	(1) 理想とする人生	(2) 実際になりそうな人生

- 【男性の方へ】 パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性回答欄	パートナー(あるいは妻)となる女性に望む人生

上の回答欄に番号を記入	1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他 ()

● **すべての方**にうかがいます。

問10 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑭のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。

※本問では賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。
また必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

	(左の考え方に)			
	1 ま っ た く 賛 成	2 い ど え ち ば ら 賛 成 と	3 い ど え ち ば ら 反 対 と	4 ま っ た く 反 対
	それぞれ番号1つに○			
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪ 結婚していなくても、子どもを持ってもかまわない	1	2	3	4
⑫ 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	1	2	3	4
⑬ 女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	1	2	3	4
⑭ 男性どうし、女性どうしの結婚があってもかまわない	1	2	3	4

問11 あなたの身近な状況について、おたずねします。以下の①～③について、それぞれ右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない（いなかった）場合は、5に○をつけてください。

	(左の状況に)				
	1 あ て は ま る	2 あ ど ち は ら ま か と い え ば	3 あ ど ち は ら ま か と い え ば	4 あ て は ま ら な い	5 該 当 し な い
	それぞれ番号1つに○				
① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（よくある）	1	2	3	4	—
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う	1	2	3	4	5
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	1	2	3	4	5

● このページでは、結婚経験をはじめ個人的なことについてうかがいます。
 ※ 立ちいった内容も含まれますが、社会関係の時代的な変化をとらえ、施策を考える上で大切な資料となります。
 調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただけますようお願いいたします。

問12 あなたはこれまでに結婚（届け出をしたもの）をしたことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. ない 2. ある（離別した） 3. ある（死別した）

問13 あなたはこれまでに同棲の経験（特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活したこと）がありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する方は同棲をした（している）時期（年齢）を下線の欄に記入してください。

(1) 同棲の経験	(2) 同棲の時期（一番最近の経験について）
1. ない 2. 以前はあるが現在はしていない 3. 現在している	() 歳から () 歳まで

問14 あなたはこれまでに(1)異性と性交渉をもったことがありますか。ある場合には、一番最近の経験では(2)避妊を行いましたか、また(3)その方法はなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 異性との性交渉の経験	(2) 避妊の実行 （一番最近の経験について）	(3) 避妊の方法
1. ある 2. ない	1. 避妊をした 2. 避妊をしなかった	1. コンドーム 4. 性交中絶（膈外射精） 2. オギノ式・基礎体温法 5. その他 3. ビル（経口避妊薬） ()

問15 あなた（男性の場合は妻やパートナー）が、(1)これまでに生んだお子さんについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。お子さんがいらっしゃる場合は、(2)該当するお子さんの出生年月を記入し、(3)そのお子さんと同居しているかについて、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) これまでに生んだお子さんの数	(2) お子さんの出生年月	(3) そのお子さんと同居しているか
0. 子どもはいない		
1. 1人	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____ 年 _____ 月	1. 同居 2. 別居・その他
2. 2人	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____ 年 _____ 月	1. 同居 2. 別居・その他
3. 3人	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____ 年 _____ 月	1. 同居 2. 別居・その他
4. 4人以上 () 人		

※ 4人以上いらっしゃる方は、3人目までのご記入でかまいません。

問16 あなたには、(1)交際している異性がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、その回答の後の矢印にしたがって、(2)交際の希望、(3)交際相手との結婚希望（最も親しい相手）、(4)結婚予定の年月のいずれかについて回答してください。

(1) 異性との交際の状況	(2) 異性との交際の希望
1. 交際している異性はいない	1. 交際を望んでいる
2. 友人として交際している異性がある	2. とくに異性との交際を望んでいない
3. 恋人として交際している異性がある	
4. 婚約者がいる	
(4) 結婚予定は [1. 令和 2. 西暦] _____ 年 _____ 月頃	
	(3) (最も親しい) 交際相手との結婚の希望
	1. 結婚したいと思っている
	2. とくに結婚は考えていない

問17 あなたのこれまでの交際経験（恋人として交際）についておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 恋人として交際した経験	(2) 交際相手の性別
1. ない 2. ある	1. 男性 2. 女性

● **すべての方** に生活スタイルについてうかがいます。

問21 あなたの生活スタイルについておたずねします。下の①～⑦のそれぞれの生活スタイルがあなたご自身にあてはまるかどうかについて、それぞれの右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	(左の考え方に)			
	1 あてはまる	2 あどち はらか るとい えば	3 あどち はらか らない えば	4 あては まらない
	それぞれ番号1つに○			
① 仕事以外で、国内旅行や海外旅行によく出かける	1	2	3	4
② 衣服や持ちものには、こだわりが強い方だ	1	2	3	4
③ 欲しいものを買ったり、好きなことに使えるお金が少ない	1	2	3	4
④ 気軽に一緒に遊べる友人が多い	1	2	3	4
⑤ 生きがいとなるような趣味やライフワークを持っている	1	2	3	4
⑥ 一人の生活を続けても寂しくないと思う	1	2	3	4
⑦ 【職業をお持ちの方のみ】 仕事のために、私生活を犠牲にすることがよくある	1	2	3	4

● **すべての方** に現在の健康状態についてうかがいます。

問22 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

問23 あなたの現在の身長、体重、および喫煙習慣についてお答えください。

身長		cm	体重		kg	喫煙習慣 (	1. ない	2. 以前あった	3. 現在ある)
----	----------------------	----	----	----------------------	----	--------	-------	----------	-----------

※ 妊娠中の方は、妊娠前の体重をご記入ください。

● **すべての方** に結婚に関する意識についてうかがいます。

問24 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

1. いずれ結婚するつもり
2. 一生結婚するつもりはない → 問31へ

問25 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

1. ある程度の年齢までには結婚するつもり
2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

● ひきつづき、「いずれ結婚するつもり」の方 にかがいます。

問26 それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。

1. 一年以内に結婚したい
2. 理想的な相手が見つければ結婚してもよい
3. まだ結婚するつもりはない

問27 あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

自分()歳ぐらいのときに
相手()歳ぐらいの人と結婚したい

問28 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

① 相手の学歴	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
② 相手の職業	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
③ 相手の収入などの経済力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
④ 相手の人から	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑤ 相手の容姿	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑥ 共通の趣味の有無	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑦ 自分の仕事に対する理解と協力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑧ 家事・育児に対する能力や姿勢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない

問29 現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）一年以内に結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。1に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な障害を2つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	一年以内に結婚するとしたら	右の回答欄に番号を記入	1. 結婚生活のための住居 2. 結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用） 3. 親の承諾 4. 親との同居や扶養 5. 学校や学業上の問題 6. 職業や仕事上の問題 7. 年齢上のこと 8. 健康上のこと 9. その他（ ）	回答欄 （番号を記入）	
	1. 障害になることがあると思う			最大の障害	第二の障害
	2. 障害になることはないと思う				

問30 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください（すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に「12」と記入してください）。

右の回答欄に番号を記入	1. 結婚するにはまだ若すぎるから	回答欄 (番号を記入)		
	2. 結婚する必要性をまだ感じないから			
	3. 今は、仕事（または学業）にうちこみたいから	最大の理由	第二の理由	第三の理由
	4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから			
	5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから			
6. 適当な相手にまだめぐり会わないから	↓ 結婚した経験がある方 → 問33 へ 結婚した経験がない方 → ここで調査は終わります。末尾のご意見欄にお進みください。			
7. 異性とうまくつき合えないから				
8. 結婚資金が足りないから				
9. 結婚生活のための住居のめどがたたないから				
10. 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から				
11. その他 ()				
12. すでに結婚が決まっている				

● 「一生結婚するつもりはない」と答えた方（問24で2に○をつけた方）にうかがいます。

問31 現在のお気持ちは別として、これまでに「いずれ結婚するつもり」と思ったことはありますか。

1. ある 2. ない

問32 今後、(1)あなたのお考えが「いずれ結婚するつもり」に変わる可能性はありますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。1～3を選んだ方は、(2)変わるとする場合、その理由として考えるものを右側のワクの中から3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください。

(1) 結婚に対する考えの変化の可能性		(2) 「いずれ結婚するつもり」に変わる場合の理由		回答欄 (番号を記入)	
どれか1つの番号に○	今後、結婚に対する考えが変わる可能性は 1. あると思う 2. あるかもしれない 3. たぶんないと思う 4. ないと思う	右の回答欄に番号を記入	1. 雇用・労働条件が改善する 2. 収入や貯蓄が増える 3. 子育て支援策が充実する 4. 家事・育児を男女で分けあう社会になる 5. 家族を養う責任を男女ともに担う社会になる 6. 結婚に関する法律や制度が変わる 7. 異性と出会う機会が増える 8. 結婚したいと思う相手が現れる 9. 子どもができる 10. 自分や家族の個人的事情が変わる 11. その他 ()		
				第二の理由	
				第三の理由	

問33 あなたの最初の結婚についての年月と、これまで経験した結婚回数を下線の欄に記入してください。

あなたの最初の結婚について		(3) これまで経験した 結婚回数
(1) 結婚生活を始めた年月	(2) 同居をやめたとき、または 死別をした年月	
[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月	(__)回

問34 最初の結婚相手とは、いつ頃どのようなきっかけで知り合いましたか。(1)知り合った年月を記入し、(2)知り合ったきっかけのあてはまる番号1つに○をつけてください。また、相手の(3)結婚時の年齢、(4)最後に卒業した(または在学中だった)学校(結婚時)についてお答えください。

(1) 知り合った年月	(2) 知り合ったきっかけ	最初の結婚相手について	
		(3) 結婚時の年齢	(4) 最後に卒業した(または在学中だった)学校(結婚時)
1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦 ____年 ____月頃	あてはまる番号1つに○ 1. 学校で 2. 職場や仕事の関係で 3. 幼なじみ・隣人関係 4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで 5. 友人や兄弟姉妹を通じて 6. 見合いで(親せき・上役などの紹介も含む) 7. 結婚相談所で(オンラインを含む) 8. 街なかや旅先で 9. アルバイトで 10. (上記以外で) ネット(インターネット)で※ ↳ (具体的に) 11. その他 → (具体的に)	() 歳	あてはまる番号1つに○ 1. 中学校 2. 高 校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大 学 6. 大学院 7. その他 ()

● 以上で質問は終わりです。次ページは自由記述欄です（ご意見等が無ければ空欄のままでかまいません）。

皆様が日頃の生活を通じて、導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じている施策はありますか。また、結婚、出産、子育て、人口問題などについてご意見などはございますか。下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、言葉がわかりづらい、回答が難しいところがありましたか。今後の調査改善に役立てますので、下の欄に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。
封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。

※ 貴重なお時間をいただきましたことをこころから感謝申し上げます。本調査の結果は当研究所における統計分析を通して、国民の皆様の生活向上に役立てられることになります。なお、過去の結果については、調査対象者向けホームページ（「調査ご協力のお願い」にURLを記載）でご紹介しています。

sample

§ 調査についてのご説明

◇ 結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は 17 回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を社会科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行しており、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化が、今後の日本社会に大きな影響を与えるとの指摘がされています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

〔結婚されている方への調査票〕

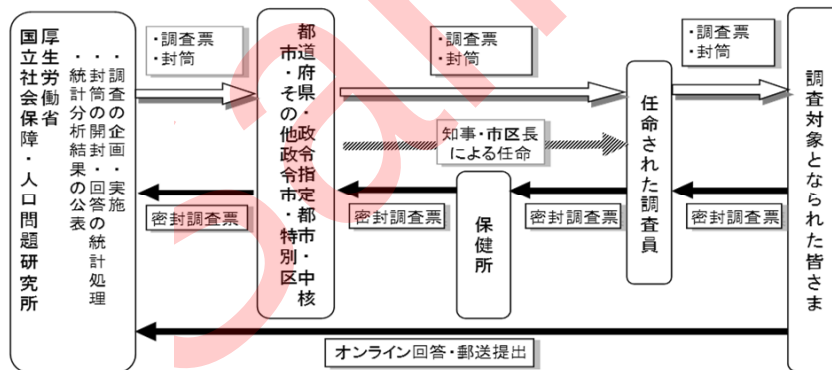
届出の有無を問わず、6月30日時点で結婚されている55歳未満の女性の方すべてが対象です。

〔独身の方への調査票〕

6月30日時点で18歳以上55歳未満の独身の方（男性および女性）すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省に所属する国立の研究機関）が、統計法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県（または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区）、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事（市長・区長）から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票等を配布し、オンライン回答又はご記入いただいた調査票（封筒に入れて密封したもの）を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのご質問等は、コールセンターまでお問い合わせください。本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせについては、出生動向基本調査の対象者向けホームページを開設して紹介しています。「調査ご協力をお願い」をご参照ください。

**結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）
を含む公的統計の作成は統計法によって行われます**

- ◆ 統計法は、社会に必要な情報基盤としての統計を整備するためのルールです。
- ◆ 統計法は、役に立つ統計の整備を通じ、国民生活を向上させます。
- ◆ 結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）の結果は、国や自治体の施策・サービスの提供に役立てられています。

個人情報 は 厳重 に 保護 されます

- ◆ 結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）では、統計法の規定により、個人情報は厳重に保護されます。
- ◆ 調査票に書かれた事柄は厳しく秘密が守られ、統計を作るためだけに用いられます。その他の目的に用いることは、統計法で禁止されています。